

第4回四国八十八カ所歩き遍路展「四国で迷子になろう」ご報告

●4月1日（日曜日）やまと郡山城ホール 快晴、桜満開。

午前9時50分の開館を待って荷物の搬入。

森川さん、松村さん、中野さん、山中さん、辻本さん、當山さん、片柴さん、井野口さんも駆けつけてくれて展示作品と会場準備が始まった。

準備がほぼ完了したのが11時過ぎ、早めの昼食を済ませて12時のオープン

4月1日、年度末と新年度のはじまりという、もっとも忙しいときだから

どなたも予定はあって、開場のご挨拶なしで、オープンしました。

続々とお客様やなじみの方々がご来場いただき賑やかになりました。



午後3時からのフォーラム「おふたりの話し場」の準備。壁面パネル2枚を移動させ椅子を用意し、ご登場いただく奈良女子大学大学院生竹屋聖羅さん、二十二番札所平等寺副住職 谷口真梁さまの登場です。



竹屋様は、二巡目の逆打ち中に来てくださり、歩きの道中に起こる
思いがけない出会いや、白衣物語、遍路仲間の優しさを。

谷口様は、開口一番、自ら開発したお菓子「食べるお札」のPRで会場を沸かし
四国の巡礼旅の特徴や、地元に残る番条お大師さんの研究を楽しく話していただきました。
奈良新聞の取材、ラジオ関西のインタビューなどもあり、館内のレストランで
軽く懇親会が開かれ、高知から駆けつけた松本大師堂の依光様ご姉妹の
紹介など、交流のひと時もあっという間で名残惜しく終わりました。（入場者数385名）

●4月2日（月）快晴

じっくりご覧いただいている若い男性。タブレットで撮影されているので、お声をかけると
九度山の旅館の方で、「お遍路されている方の気持ちを改めて気づきました。
明日の休みに奥さんと一緒にもう一度見る」というのです。
山下さんからも多くのアドバイスをしてもらい熱心にメモされていました。



また、花束を持った3人の方が来られ、大先達松岡さんが説明を。

あとで新聞でわかったのですがグラミー賞のノミネートされたこともあるラグタイムの世界的なピアノ演奏家池宮ご夫妻で、奈良の実家のグランドピアノをこのホールに寄贈したばかりで、その足で展示室に来ていただいたのです。お遍路旅について、ご存知なかったようで、すばらしいと驚いていました。

今後、アメリカでの活動に専心するらしく、現地の方にお遍路の素晴らしさを届けてくれることでしょう。

（入場者数163名）

●4月4日（水）桜華吹雪



この掛け軸の書家 土口哲光さま（写真左）が京都からお越しいただきました。
山下さんの師匠・櫻谷和香先達さまのご縁で今回の展示会のメインとなりました。
歩々是道場（ほぼ ぜ どうじょう）

「さとり」とは、外で修行して求めるものでなく、日々の歩みの中で
みつけるもの、いただくものである。一步一步が道場とおっしゃる。
土口さまは東寺の前教科部長や真言宗布教連盟前常任理事の経験され、
現在は亀光庵の庵主です。

山下さんの横の女性は歩いている途中というので、土口さんが一緒に
撮りましょうとお声がけをされ記念ショットになりました。

（入場者数183名）

●4月5日（木）（入場者数171名）

●4月6日（金）（入場者数133名）

地元のお寺の住職さんや、議員さん、市長さんや、
番条の1日限り札所の平等寺さんもお見えになりました。

4月21日の「番条町のお大師さん」はこれまでなかったほどの賑やかさになりそうです。

受付カウンターには、歩きたいとの相談がひっきりなしに続き、
山下さんは大忙しです。こられた皆さんに遍路宿の浅野本店さま、一心庵さまなどなど
からのお接待品を差し上げて喜んでいただきました。

地図や、関係資料も次々と追加してもなくなっていきます。





4月1日から6日まで（3日は休館日でした）の5日間で1,035名の入場者でした。
至らなかったこともありましたが、
多くの皆様のご来場とご協力に心からお礼申し上げます。
まずは、出品者としてのご報告です。 宮本光夫